

2023 年 5 月 18 日 (木) 19:30～21:30

令和 5 年度

第 1 回 セミナー 学級経営の困った！を一人で抱え込まないで

議事録作成 玉置ゼミ 8 期生 寺尾祐里奈

アドバイザー 和田裕枝先生 颯田浩行先生 小西順子先生 玉置崇先生

【今回の議題】

□現在、教育界で存在する困りごと

①【若い教師が教師の魅力や喜びを味わう前に辞めてしまう先生が多くいる現状を踏まえ、  
どうしていくべきか】

□教員 6 年目で学年主任の先生の困りごと

②【同じ学年を持つ 3 年目の女性の先生のプライドが高いため、困ったということを気軽に  
出してほしい。学年主任としてどのように声掛けをすればよいか】

□教員 5 年目で学年主任の先生の困りごと

③【同じ学年を持つ 10 歳年上の先生に、その先生の学級の緩さを一緒に何とかしたいと持  
ち掛けたいがどう話せばよいか】

★★★

□現在、教育界で存在する困りごと

①若い教師が教師の魅力や喜びを味わう前に辞めてしまう先生が多くいる現状を踏まえ、  
どうしていくべきか。

〈吉田先生のご意見〉

☆ある程度のコミュニケーション力が大切

・一人ではなく誰かと一緒にやることができればこのようにはならないのでは？

〈玉置先生のご意見〉

●PC力は就職してからでも育むことができる。

☆コミュニケーション力は経験を積みなければならず、すぐに育むことのできる力ではな

い

- 離職してしまうのはコミュニケーション力が影響している

〈和田先生のご意見〉

☆ コミュニケーション力がないと陰になって一人で抱え込んでしまう

- 今の人は大丈夫？と言われても大丈夫と答えてしまう

〈吉田先生のご意見〉

- ・ いかに自分を出せるかが大切

〈小西先生のご意見〉

☆ 良くできる人が多いからこそプライドが高く一人で抱え込むのではないか

- フェアになる雰囲気をつくると良い
- 教育係をつける。(初任者指導者のような人)
- 教員は厳しさをもたなければならないけれど孤独の職業

〈颯田先生のご意見〉

- 大きな失敗をし、苦しむ経験が乏しい先生に乗り越えられないことがあると倒れてしまう
- 「助けて」というサインをアウトプットできない
- コロナ禍の中で異年齢交流がある飲み会が格段に減り、上司などに助けを求める機会が減っていることも原因の一つなのではないか

○ あめちゃんコミュニケーション

→ 飴を渡してそこからコミュニケーションを取り親和的な関係作りに努める

- 地道な積み重ねが大切

☆ おかしいかもというサイン（ご飯が食べられなくなる、体が重いなど）を知識として伝えるべき！！

→ 困っていること自体が分かっていない人がいるため

〔おかしいかもというサインの例〕

- ・ 期限までにできていたことができなくなってしまう
- ・ 考えがまとまらない
- ・ アドバイスや助言が入ってこない

- ・なぜか涙が出てくる

〈和田先生のご意見〉

- どんなに優秀な先生でも 100 点の授業はできない
- 100 点の授業をしようとしなくてよい

〈小西先生のご意見〉

- 若いときは**情熱**でやるしかない！
- 若さを活かしてとにかく元気で！！若さがアドバンテージ！！

〈玉置先生のご意見〉

- いい研究授業を褒められた時とてもうれしい気持ちにはなる。しかし、すごく努力して作り上げた授業を褒められたことにより、この努力をこれからずっと続けていくことはできないと思い、やめてしまう先生がいる

〈小西先生のご意見〉

- 教員の仕事は高校野球ではなくプロ野球である
- 何十年もコンスタントに続けるために 70~80% くらいの力で続けていくことが必要

〈和田先生のご意見〉

- ☆研究授業だけ張り切ると子どもたちはついていけない
- 子どもに懐石料理を食べさせようとするのではなく、おいしいごはんのみそ汁だけは食べさせよう

〈吉田先生のご意見〉

- ・自分の生活を立ち止まって振り返ることが大切

〈和田先生のご意見〉

- 初任者研修は「こうあるべき」ということばかり伝えられる。
- 少し和らぐような雰囲気作りが大切

〈菱川先生のご意見〉

- ・授業は何とかなると思えるが、子どもへの指導に関することは何とかなるとは思えない
- 子どもに関する指導についてはその日のうちに終わらせたい。

↓

そこに教師に対する信頼感が生まれ

## □教員 6 年目で学年主任の先生の困りごと

②【同じ学年を持つ 3 年目の女性の先生のプライドが高いため、困ったということを気軽に話してほしい。学年主任としてどのように声掛けをすればよいか】

〈颯田先生のご意見〉

☆会話の切り出し方

↓

- × 「大丈夫？」 = 「大丈夫」と返してしまう
- 「何かしてほしいことはあるかな？」などの切り出し

〈小西先生のご意見〉

☆柔らかい雰囲気づくり

- いきなり本題に入るのではなく、アイスブレイクをする。
- (例) 女性であれば服装を褒めるなどたわいもない話をする
- そこから徐々に本題に
- ⇒隙を見せる

〈和田先生のご意見〉

☆女の先生の担当学級の子どもの良いところを褒める

- その先生がその良さに気が付いていない時もあり、コミュニケーションを取るきっかけとなる
- ⇒話しやすい雰囲気づくりをする

〈颯田先生のご意見〉

☆教えを乞う

- 「これってどういうこと？」とその先生に聞く
- 質問作戦!!!

## □教員 5 年目で学年主任の先生の困りごと

③【同じ学年を持つ 10 歳年上の先生に、その先生の学級の緩さを一緒に何とかしたいと持ち掛けたいがどう話せばよいか】

〈颯田先生のご意見〉

☆来年のことも視野に入れ互いの学級の子どもたちが来年も崩れないように、ある程度同じルールを決めたり、学年集会など学年で関わる機会を増やしたりする

☆朝の会か帰りの会で先生が入れ替わる

⇒学年を二人で見ているという意識を高める

〈小西先生のご意見〉

☆年上を立て、笑顔で、そして敬語で接することを意識して良好な関係作りをする

☆情報共有の機会を増やす

〈和田先生のご意見〉

☆一人で二クラスを見ようとするのではなく、二人で二クラスを見ようとする

(例)

- ・朝の会を交換し、話のネタを増やす
- ・総合や体育、音楽など合同でできる時は合同で行う

⇒二クラスの垣根をなくしていく。